

# 感染状況・医療提供体制の分析(9月6日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細  
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (8月30日公表) 8月19日～8月25日	現在の数値 (9月6日公表) 8月26日～9月1日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	746人	604人	↓	<b>レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要</b>  定点当たり患者報告数は <b>7.19人</b> とやや減少。手足口病、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎なども減少してきている。 人の移動や集まりは一旦落ち着いたからか、全国的にも岡山でも感染者数は減少傾向。しかし、高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。特にハイリスクな方へはうつさないよう工夫が必要。 入院患者数変わらず。 <b>ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要</b> 。
		定点当たり数	8.88人	7.19人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	40.3%	37.1%	↓	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	4.73人	3.55人	↓	
		倉敷市保健所	10.44人	7.25人	↓	
		備前保健所	7.87人	5.53人	↓	
		備中保健所	10.33人	12.17人	↑	
		備北保健所	14.83人	8.00人	↓	
真庭保健所	8.00人	4.67人	↓			
美作保健所	12.00人	11.90人	→			
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	41人	45人	→		
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	2人	0人	↓		

\*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。